

日越大学との連携のご案内

アジアを変える、世界に挑む



VJU

Vietnam Japan University

VNU since 1906



日越大学 日本委員会事務局

〒102-0082

東京都千代田区一番町4-42一番町IIビル5階

Tel : 03-6369-8530

Email: vju@toasoken.asia

日越大学 Vietnam Japan University

Address I :Luu Huu Phuoc Road, My Dinh 1 Residential Area,

Cau Dien Ward, Nam Tu Liem District, Hanoi, Vietnam

Address II :Hoa Lac, Thach That, Hanoi, Vietnam

Tel: (+84) 24-7306-6001 Website: <https://vju.ac.vn/en>



Supported by
Japan International
Cooperation Agency

[https://www.jica.go.jp/oda/
project/1901195/index.html](https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html)

日越大学プラットフォームを活用し、日越人材協力の新時代を切り拓く

2023年は、日越外交関係樹立50周年という記念すべき年であり、多くの両国間の外交行事が開催され、日越両国が共により高い協力を誓い合いました。同年12月には、日越両国の包括的な戦略的パートナーシップが締結され、まさに両国関係は「日越新時代」ともいえる最高の段階にあります。

この「日越新時代」を、これまでとは異なる次元で強力に推進する鍵は、両国間の人材育成協力であり、外交・経済・文化等、あらゆる方面において、日越両国の懸け橋となる草の根外交官を輩出していくことです。そのためには、人材を輩出していくプラットフォームが必要であり、それが日越両国政府の国家戦略として誕生した日越大学です。2024年に創立10周年を迎えた日越大学の更なる飛躍の実現に重要なことは、この人材プラットフォームで学ぶ優秀な若人の世界を舞台とする活躍について、日越両国の産業界の皆様と共に知恵を出し合い、共にその舞台を作っていくことです。

そこで、特に日本の産業界の皆様をお願いしたいことがあります。それは、日越大学というプラットフォームを、皆様のベトナムにおける拠点としてご活用いただくということです。日越大学が移転を進めるホアラク地区は、我が国がその基礎インフラ整備を行った約1千haのハイテクパークを抱え、精密機械・ITなどの産業集積が進み始めています。ここに拠点を構える日越大学は、6千人規模の学生を抱える新キャンパスを2028年までに建設予定であり、産学連携拠点となる「日越総合交流文化センター」を設置する予定です。このプラットフォームを、既にベトナムに進出されている企業や今後本格的な進出を検討されている企業の皆様に活用いただくべく、日越大学への投資をご検討いただきたいと思います。

次に、少子高齢化や人口減少の時代にある日本は、海外の若くて優秀な人材なしには生き残れません。一方で、2023年末に人口が1億人を超えたベトナムには、若くて優秀な人材が溢れています。国内マーケットが人口増に追いつかず、未だ彼らの活躍の場は限定的です。このような状況の中、日越大学には優秀なベトナム人学生に留まらず、世界各国からの志高い留学生も年々増えています。日越大学で学ぶ優秀な人材を必要とする日本の産業界の皆様には、学生のインターンシップ受入れや、卒業後の採用等を通じ、皆様のビジネスを強力に推進する即戦力としてご活用いただきたく思います。

最後に、日越大学は、日越両国の社会・産業界のニーズを踏まえたグローバルで実践的な人材を輩出すべく、「VJUアカデミー」を同学附属専門機関として設立することを日本政府と協力しながら検討中です。ここでは、日本語、IT、保健福祉等の分野における専門教育を行い、日越両国の社会が求める新たな即戦力人材を輩出していきます。この専門機関については、各分野のスペシャリストである団体や企業の皆様と連携して具体的な教育内容の検討・実施を進める予定です。

この産学連携リーフレットは、産学界の皆様にご活用いただくための参考情報をまとめたものです。「日越新時代」における両国協力の舞台で大いに奮闘する日越大学卒業生の活躍もまとめています。本リーフレットが、皆様の日越大学への関心や理解を深める一助となることを願っております。



日越大学日本委員会代表
武部 勤

日越大学日本委員会の設立経緯

第26回関係省庁会議（令和5年2月7日開催）にて、日越大学日本側理事が日越大学議員懇話会や関係省庁会議等と連携し、日越大学に対する提案、理事会や日越政府間交渉において、日本側理事としての統一見解の提示や日本政府の対越交渉に係る対処方針への提案等を行う「日越大学日本委員会」が設置されました。

日越大学日本委員会メンバー

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>相澤 益男
公益社団法人科学技術国際交流センター会長
東京工業大学名誉教授・元学長</p> <p>古田 元夫
日越大学学長</p> <p>モンテ・カセム
公立大学法人国際教養大学理事長・学長</p> <p>中島 文雄
独立行政法人日本貿易振興機構
ハノイ事務所長</p> <p>佐々木 和人
日本商工会議所国際部担当部長</p> | <p>武部 勤
日越友好議員連盟特別顧問
公益財団法人東亜総研代表理事・会長</p> <p>竹原 玲児
一般社団法人日本経済団体連合会
国際協力本部長</p> <p>武内 和彦
東京大学未来ビジョン研究センター特任教授
公益財団法人地球環境戦略研究機関・理事長</p> <p>内田 勝一
早稲田大学参与・名誉教授</p> <p>山田 滝雄
在ベトナム日本国大使館特命全権大使</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(ローマ字順)

日本の大学による協力

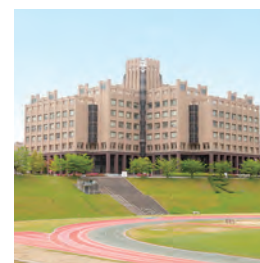
2016年9月、日越大学はアジア有数の名門大学であるベトナム国家大学ハノイ校の7番目のメンバー大学として誕生しました。2020年2月、独立行政法人国際協力機構（JICA）はベトナム国家大学ハノイ校との間で、2期目にあたる日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトの実施にかかる協力合意書を締結し、現在、日越大学はJICAと契約した7校の幹事大学と連携しています。日越大学が開設する学部・大学院の各プログラムについては、日越大学と幹事大学が共同で開発・運営にあたっています。これまでに、幹事大学は300名近くの学生をインターンシップで受け入れてきた一方で、日越大学卒業生の中には日本の大学の博士課程に進学する学生もおり、日越大学での学びを基盤とした先端的な研究課題に取り組んでいます。

● 学部プログラム ● 大学院プログラム ● 共通



東京大学

- シビルエンジニアリング
- 地域研究
- コンピュータサイエンス&エンジニアリング
- 社会基盤
- スマート農業とサステナビリティ
- 環境工学
- 食品工学と健康



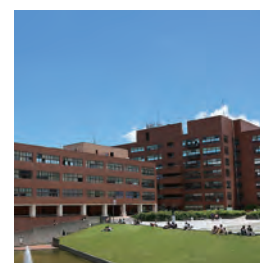
立命館大学

- 環境工学



茨城大学

- 気候変動・開発



筑波大学

- 公共政策



大阪大学

- メカトロニクスと日本型モノづくり
- ナノテクノロジー



横浜国立大学

- 企業管理



早稲田大学

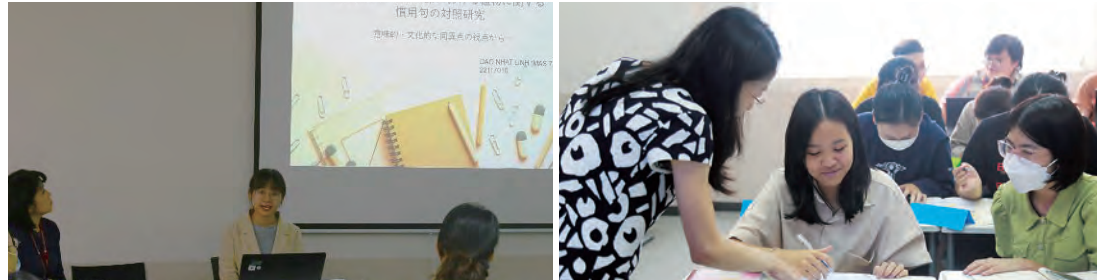
- 日本学
- グローバル・リーダーシップ
- 日本語教育

写真提供元：各幹事大学

日越大学の教育の特色

日本語教育

日越大学の全ての大学院プログラムにおいて、日本語は必修科目です。日本語教育プログラムは、正規授業である日本語学習コースの設計・実施を行うほか、学生に対して授業補習や日本人学生との交流、日本語カフェの開催等、様々な学外活動を提供しています。



日越大学学生による発表

日本語教育の授業風景

インターンシップ

インターンシップは、学部・大学院全てのプログラムにおける必修科目です。大学院で開講されている日本でのインターンシップは、日越大学の最大の強みのひとつであり、数多くの大学院生が、幹事大学での研究発表や会社訪問等の実務経験から刺激を受け、日本に卒業後の進路を求めて活躍しています。



茨城大学での研修

企業管理プログラム6期生集合写真（横浜国立大学）

国際交流

日越大学は日本の大学と協力し、多様な国際交流プログラムを実施しています。日越両国の相互理解を深めるため、サマープログラムやオンラインによる教育研究プログラム、交換留学、複数の大学による合同交流会といった様々な取り組みを進めています。



関西学院大学学生とのオンライン共修

イオンモールハドンの見学（桜美林大学との学生交流）

学生の活躍

UNDPとユニクロ主催のデザインコンテスト

2023年8月、国連開発計画（UNDP）とユニクロが主催した“YOUth4RespBiz”デザインコンテストのトップ10に日越大学の2チームが入賞し、日本学とコンピュータサイエンス&エンジニアリングからなる学部混合チーム“KiDs & Earth”が優勝しました。優勝チームは「Kid will Shape the sustainable business」をスローガンに、若い世代に持続可能なビジネスを育む役割があることを強調したデザインを提案しました。



表彰式の模様

日経STEAM学生サミット

日本経済新聞大阪本社主催の「学生サミット未来の地球会議」において、日越大学が2年連続で華々しい成果を残しました。ASEAN諸国における家庭ゴミの処理問題に注目し、「ゴミ拾いを“不名誉な仕事”から“専門的な仕事”として発展させる提案」（2022年、大学院）、「パンデミックを止めるための主に貧困層の衛生に関する知識向上に向けた無料ゲームの開発」（2023年、学部）がそれぞれグローバル賞を受賞しました。



グローバル賞トロフィー

日経STEAM2022グローバル賞集合写真

日本で活躍する卒業生たち



NGUYEN DUC TRUNG
グエン・ドゥック・チュン
(株式会社小町建設)

木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造を用いた高品質な価値ある家づくりを手掛ける小町建設で、建物の地盤強化に関わる仕事をしています。地震等の災害防止に向けて、日越大学や日越大学修了後に進学した横浜国立大学での研究活動を振り返りながら、親身な同僚の方々とともに最適化された地盤の追求に取り組んでいます。日越大学在学中、数多くの建設現場をたずねて修士論文のデータを収集したことや、指導教員のダン先生が休日でも論文指導にあたってくれたこと、また、ビン先生から日本での働き方を教わったことなど、全てが現在につながっていると実感しています。2人の子どもの成長を見守りつつ、自分を成長させてくれている第2の故郷日本で、幸せな毎日を送っています。



NGUYEN THI THU HA
グエン・ティ・トゥ・ハー
(大成ロテック株式会社)

道路建設を中心とした社会基盤整備を行う日本国内の大手道路建設会社大成ロテックの技術研究所に配属され、研究員として道路の維持管理の最適化に関わる技術開発研究に携わってきました。最新の研究では、竹筒型の土壌環境改良材に注目し、道路の街路樹を対象とした樹木の根や地上部の成長促進に関する実証実験において、AIを用いたデータ解析に取り組みました。この技術開発においては日越大学在籍時に学んだ英語と日本語を用いた仲間とのコミュニケーション力が活かされています。ベトナムのさらなる発展に繋がると、日本で建設という営みの奥深さを追求しつづけていくことが私の使命です。



DO LE THANH THUY
ド・レ・タン・トゥイ
(株式会社新星コンサルタント)

建設コンサルタント企業として半世紀余の歴史がある新星コンサルタントの企画部に所属し、企画職として各種取引先機関との連絡・調整を担当しています。高校生の時に日本文学と出会ってから日本に興味を持ち、地元のフエ大学で文学、日越大学でベトナム研究に励みました。ベトナムの学界でほぼ認知されていなかった井原西鶴に注目し、日本とベトナムの文学比較に取り組みつつ、日本でのインターンシップの大部分を東京大学駒場図書館での文献収集にあてたこと、日本研究のクラスにも参加して、日本の企業風土や歴史を学んだことなど、日越大学では、言語と文化の両面から日本理解を深める有意義な時間を過ごせました。今後も新星コンサルタントで経験を積み、日本とベトナムの人材交流で貢献していきたいです。



NGUYEN MANH TUNG
グエン・マン・トゥン
(ヒロセ株式会社)

社会全般のインフラ構築を支えるヒロセホールディングスのグループ企業で、建物の基礎構造や仮橋設計エンジニアとして働いています。ハノイ交通大学で出会った日本人教員の影響で日本文化に興味を覚え、日越大学が日越両国の政府間合意により誕生したことに魅力を感じて入学しました。修士論文でインタビューと文献を織り交ぜた複合的アプローチから、ハノイ市内におけるバス交通機関のマネジメント体制のあり方を検討する中で、分析結果を効率化させる方法を熟慮した経験は、現場でのデータ収集と机上でのデータ整理・解析を主な作業とする今の仕事に役立っています。人間関係を含めた仕事全般について、ヒロセで成長を重ねていき、生活インフラの技術開発をとおりて日本のみならず世界に貢献していきたいです。



HOANG DUC TRUNG
ホアン・ドゥック・チュン
(株式会社ファーストリテイリング)

衣料品会社を傘下にもつファーストリテイリングのグローバル人事部に所属し、海外展開する国々の報酬調整・報酬評価を担当しています。ハノイ貿易大学卒業後、日系企業で日越大学設立に向けた市場調査を行い、日越大学に進学して、日本で働きたいという夢が芽生えました。日越大学での学びは、日本語能力の向上や日本の労働慣行の理解とともに、自分の専門分野にとらわれず、学際的な考え方を習慣づけられた点に大きな意味があります。それは、アジア・ヨーロッパ地域にある5カ国の報酬業務を担当する私にとって、歴史や文化が異なる国々の生活観念や価値観を理解することは、欠かせない営みだからです。一つ一つの仕事をしっかり吸収し、必ずベトナムのユニクロを発展させたいです。



LUONG HUU DUC
ルオン・ヒュ・ドゥック
(国立開発研究法人物質・材料研究機構)

物質・材料の進化と革新を先導し、世界的な研究課題に取り組む物質・材料研究機構で、携帯電話やパソコンなどに内蔵されるリチウムイオン電池の物質内部に関わる調査研究を行っています。奨学金をはじめ学生へのバックアップ体制が充実していたため、日越大学に入学しました。大学時代に専攻した化学に隣接するナノテクノロジーを学び、先生方の熱心な指導のおかげで、基礎から応用にいたる知識や研究方法への理解を深めることができ、論文指導にあたってくださった先生を慕って大阪大学へ進学しました。物質・材料研究機構の研究職員として様々な職務を経験し、これを糧に快適な生活を送ることができる日本の研究所や大学で研究を積み重ね、世界に貢献できる研究者となることが私の夢です。

教員紹介

学部プログラム

※以下、講師名・専門分野・研究キーワード

日本学

藤本 憲正
Norimasa Fujimoto
神 学

近現代キリスト教思想/京都学派とキリスト教思想/ユリの花と球根の交流史

吉田 洋能
Hiroyasu Yoshida
言語教育学

ベトナム人日本語教師のキャリア形成/言語教育とベトナム社会/日本語学習者のエンゲージメント

Trần Lan Hương
チャン ラン フオン
比較教育学

異文化コミュニケーション/異文化間教育/日本への留学生向け教育

Pham Thi Thu Giang
ファム ティトゥザン
宗教思想史

日本の歴史/日本仏教史/日本知識人史

コンピュータサイエンス&エンジニアリング

Bui Huy Kien
ブイ フイキエン
デザイン工学

ディープニューラルネットワークとアプリケーション/集積回路設計/IoT

Nguyen Van Tang
グエンヴァン タン
情報科学

ソフトウェア工学/機械学習/ブロックチェーン/デジタルトランスフォーメーション

Lê Kim Quy
レキム クイ
機械工学

3Dプリンティング/3Dプリンティング部品の特性予測に関わる機械学習

スマート農業とサステナビリティ

Dang Minh Hieu
ダン ミンヒェウ
バイオテクノロジー

土壌生物学/難分解性有機汚染物質除去のための高度酸化プロセス
※<食品工学と健康>兼務

Ta Kim Nhung
タ キム ニュン
植物生理学

植物遺伝学/進化発生学/バイオ情報学

メカトロニクスと日本型ものづくり

Dương Hữu Toàn
ズオン ヒュー トアン
電子工学

モーショントラッキング/ヒューマン・ナビゲーション・システム
※<先端工学・技術 学部・研究科>兼務

Nguyen Van Thang
グエンヴァン タン
機械工学

剛体と機械の力学/機械システムの振動と安定性/材料力学

大学院プログラム

※以下、講師名・専門分野・研究キーワード

地域研究

Nguyễn Kim Dung
グエンキム ズン
ベトナム史

ベトナム教育史/前近代・近代のベトナムにおける文化交流

グローバル・リーダーシップ

Lương Minh Phương
ルオン ミン フオン
社会教育学

高等教育の国際化/人権と社会正義(ジェンダー平等など)/若者の職業訓練と雇用

ナノテクノロジー

Bui Nguyen Quoc Trinh
ブイグエンゴックチン
物理学・材料工学

半導体チップ技術/SiベースのCMOS技術とナノインプリント・リソグラフィ

Pham Tien Thanh
ファム ティエン タイン
電子工学

極限感度のバイオセンシングプラットフォームの開発/広帯域光吸収光熱材料の開発

社会基盤

Nguyen Ngoc Vinh
グエンゴックヴィン
社会学

材料の微細構造/材料の疲労強度/ナノインデンテーション

Nguyen Tien Dung
グエンティエンズン
地盤工学

地番材料の変形挙動/浅層・深層基礎の支持力と沈下

環境工学

Nguyen Thi An Hang
グエンティアンハン
環境工学

水・排水の汚染処理/土壌除染と再生/水-廃棄物-バイオエネルギーの連結/固形廃棄物管理

Tran Thi Viet Ha
チャンティヴィエットハー
環境工学

先端材料/ナノ材料/光触媒/環境処理

気候変動・開発

Hoang Thi Thu Duyen
ホアンティトゥズエン
土壌・植物栄養学

土壌・植物・微生物の相互作用/養分の移動と転流/根圏プロセスと可視化技術/気候変動と農業

Nguyen Thi Hoang Ha
グエンティホアンハー
地球気候学

生物地球化学と健康リスク評価/天然資源の持続可能な利用と管理/気候変動と持続可能な開発

Nguyễn Thị Thúy Hằng
グエンティトゥイハン
空間情報科学

災害管理/都市計画/天然資源の管

日本語教育プログラム

※以下、講師名・専門分野・研究キーワード

Bui Minh Khoi
ブイ ミン コイ
日本語教育学

漢字教育/音読指導法

Nguyen Thi Thu Huong
グエンティトゥフオン
日本語教育学

第二外国語教育における学習者と教師の心理/第二言語教育へのテクノロジーの応用

Nguyen Viet Thi
グエンヴィエットティ
日本語教育学

ビジネス日本語と日本のビジネスマナー/日本の伝統文化(茶道・華道)

Pham Thi Hong
ファムティホン
日本語教育学

中越研究/アクティブ・ラーニング

Pham Thi Tham
ファムティタム
日本語教育学

ピア・ラーニング/アクティブ・ラーニング/スピーキング・スキル練習

Vu Hong Ngan
ヴホンガン
日本語教育学

アクティブ・ラーニング/スピーキング・スキル練習

JICA専門家

※以下、講師名・担当プログラム・専門分野・研究キーワード

桃木 至朗
Shiro Momoki
学際社会科学 学部・研究科

歴史学(ベトナム研究とグローバルヒストリー / 教養教育と高大接続)

柳 定賢
Ryu Jung Hyun Jasmine
学際社会科学 大学院・グローバルリーダーシップ

比較国際教育学・国際教育開発論

久好 孝子
Takako Hisayoshi
日本語教育プログラム

日本語教育学(対照言語学/文法研究と言語教育/反転授業)

松井 孝浩
Takahiro Matsui
日本語教育プログラム

日本語教育学(海外における日本語教育/日本語教育評価/言語政策/地域日本語教育)

齊藤 真美
Mami Saito
日本語教育プログラム

日本語教育学(日本語教授法/介護の日本語教育/教師研修/ICTを用いた言語教育/教材開発)

山川 史
Fumi Yamakawa
日本語教育プログラム

日本語教育学(日本語教授法/留学プログラム/経験的学習)

日越大学将来計画

ホアラックキャンパス



- ・ハノイ中心部から約30kmのホアラック地区で整備中の1千ha規模の広さを誇る科学技術学園都市、ホアラック・ハイテクパークの中にホアラックキャンパスがあります。
- ・日越大学をはじめベトナム国家大学ハノイ校傘下の大学群やFPT大学、ハイテク工業団地等の研究開発・教育訓練施設を有するホアラック・ハイテクパークでは、産官学のハイレベルな連携によるプロジェクトが展開されています。
- ・大学・研究機関の環境整備と学住近隣の街づくりが進められています。

戦略的付属機関（設置予定）

日本文化・技術・言語センター（VJUアカデミー）

- ・ITや保健、福祉、観光等、日本とベトナム両国のニーズに応じた実践的専門教育の展開
- ・日本の企業文化、おもてなしの理解促進と日越往来に関わるキャリア支援

日越総合交流文化センター

- ・日本の産官学の進出や交流をサポートする国際戦略拠点
- ・日本ブランドのベトナム社会へのアウトリーチ機能をもつプラットフォーム



日越総合交流文化センター（完成イメージ図）

連携について

連携メニュー

教育

寄付金

企業、団体、個人等からの寄付金を学期単位で優秀な学生に奨学金として支給していただきます。また、ご要望に応じて奨学金受給者との交流会等を支援させていただきます。

インターンシップ

学部・大学院のインターンシップ科目において、就労体験・会社訪問・現場見学体験等の機会を提供していただきます。

キャリア支援

ジョブフェアや企業説明会を通じて、キャリア支援の機会を創出していただきます。また、希望に応じて個別説明会の機会を設けてさせていただきます。

寄付講座

企業、団体、個人等からの寄付金をもとに寄付講座を設置し、連携講座・特別講座等として開講させていただきます。

連携協定締結等

72大学/学校/機関/企業（国内33、国外39）（2024年1月現在）

寄付金・奨学金

寄付総額（2016年9月～2023年12月）：17,933,820,782VND（約1億500万円）

企業等奨学金数（延べ）（2016年9月～2023年12月）：46社、13団体、11個人

■ 三谷産業・小金井精機製作所連携講座を実施



三浦取締役による講義



鴨下社長による講義

2023年5月、日本学プログラムの授業の一環として三谷産業株式会社と株式会社小金井精機製作所による日本企業の「人材育成」に関する講義が実施されました。三浦秀平取締役は三谷産業の6つの事業領域やベトナムとの関わりについて紹介しました。また、小金井精機製作所の鴨下祐介社長は、「日本型人材マネジメント」と題して、日本企業の人材の現状、日本型人材マネジメントの特徴などについて学生たちに伝えました。

研究（共同研究/受託研究）

日越大学はリベラルアーツとサステナビリティの理念のもと、先端技術や学際科学に特化した分野に重点をおき、全学レベルで研究を進めています（以下参照）。これらに関連した共同研究のみならず、ベトナムを対象とする研究の文字資料や数量データの収集・整理・提供などの受託研究にも協力します。

コンピュータサイエンス & ロボット

建築工学

学際生物科学

環境工学

気候変動 & 地理情報システム

物質・材質とナノテクノロジー

謝意

日越大学ホームページに連携締結に関する報告を掲載いたします。また、日越大学からご寄付者へ感謝状をお贈りいたします。